

JARLクラブ登録番号 10-4-68 ↓ replace [(a)] with [0]
 発行 JR3KQJ 中島 昌己 (kcj-p(a)kcj-cw.com)
 編集 JH3HGI 吉村 豊樹 (Ed) (thekey(a)kcj-cw.com)
 印刷 JH8CBH 佐々木 朗
 レポート管理 JE3PED 佐野 貴英 (ed) (kcj-rpt(a)kcj-cw.com)
 会報発送管理 JH3EZV 勝本 健
 会員部 JA7QLP/1 工藤 博昭 (kcj-mem2(a)kcj-cw.com)
 会計 JA1COP 佐々木広武
 郵便振替口座 00860-1-13444 名義：全国CW同好会
 KCJウェブ http://www.kcj-cw.com クラブ局：JR8YLY

【本紙カラーPDF版ダウンロードのお知らせ】

本紙（ザ・キー「ハムフェア特別号」）のカラーPDF版を KCJ-WEB から 8月27日の夜以降 ご自由にダウンロードしていただけます。入会申込書もあります。

以下の URL にアクセスして、「日本語ページ」の左側メニューにある『入会申込書／ザ・キー特別号 ダウンロード』をクリックしてください。

<http://www.kcj-cw.com/>

ハムフェア2011 出展

全国CW同好会(KCJ)のブースにおいていただきありがとうございます。KCJは、ハムフェアにおいてCW愛好者の方に集いの場を提供し、CWの発展に貢献できればと思っています。ひとりでも多くの方に、私たちの活動に関心をお持ちいただき、一緒に活動していただければ幸いです。**個人局でCW免許を所有していれば入会可能で、年齢制限はありません。**また、入会申込にあたり、**会員の推薦は不要**です。入会に関する記事を本紙の後半に掲載していますので、ご覧ください。

第32回KCJコンテスト

今年もたくさんの局のご参加をいただき、ありがとうございました。コンテストログの提出締切日は、9月21日(水)(消印有効)です。

ご存知と思いますが、KCJではご提出いただいたログを全て電子データ化して各データを突き合わせします。その結果、互いに一致した交信にポイントを与えるという方式を採っております。

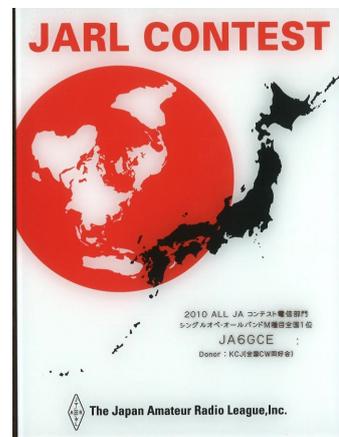
たとえば、A局がB局とナンバー交換してログを提出されても、B局からのログ提出がなければA局にポイントが付きません。

したがって、たとえ1局でもコンテスト交信をされましたら、ぜひログの提出をお願い致します。チェックログとしていただいても結構です。よろしくお願い致します。

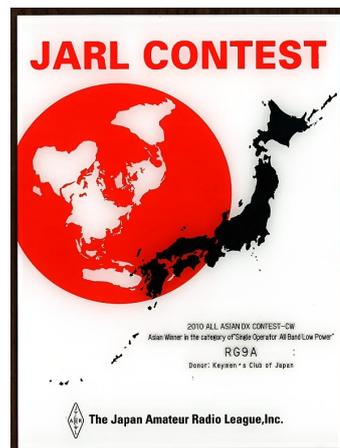
コンテスト担当 JA8AJE (ja8aje(a)jarl.com)

コンテストドナー

KCJは、CWの発展に貢献することを目標のひとつとしており、JARL主催のコンテスト(CW部門)にドネーションをしています。



2010年のALL JAではJA6GCE局に(上の写真、電信部門シングルオペ・オールバンドM種目全国1位)、



ALL ASIAN DXではRG9A局

(下の写真、"Single Operator All Band Low Power")に盾が贈られました。

KCJ Member List

as of Jul. 30, 2011

No.	M-No	Callsign	Handle	JCC/G	Other callsign
1	002	JA1DD	YAS	1237	
2	359	JA1IE	MOH	100121	
3	004	JA1ALM	SHO	1203	
4	288	JA1COP	ROM	1227	JA40EY, JP7AED
5	353	JA1FCY	MASA	1237	
6	157	JA1OYB	JUN	1012	exJH1GFH, exJR1IWC
7	202	JA1PHE	NOBU	1302	
8	318	JA1TCF	YUKI	13002	
9	203	JA1VDA	JUN	110304	
10	376	JE1KNT	YUKI	1211	exJR3RPD, ex7M1JMN
11	421	JE1TRV	ATSU	1010	JE3UWU
12	102	JF1PPR	YUJI	100114	
13	060	JF1RBP	NOB	110101	
14	103	JG1BAH	KOJI	1334	
15	138	JG1BGK	KUNI	3303	JN4EKN
16	116	JG1RIA	YOSHIO	1302	
17	308	JH1BAM	MIKE	1106	
18	204	JH1FET	MITU	1007	
19	007	JH1HTK	TAKA	1105	
20	057	JH1IZR	JUN	1104	
21	393	JH1MVY	KAZU	120102	
22	341	JH1NXU	AKI	1404	
23	258	JH1TFL	SEY	110106	
24	395	JH1XOQ	SAM	1210	
25	113	JI1DHY	TOYO	16004	
26	062	JI1GNT	NAKA	1106	
27	416	JI1IPD	HIRO	110104	
28	384	JI1LAT	JUN	1237	
29	063	JJ1INO	INO	1117	
30	400	JJ1QYX	AKI	110306	
31	160	JK1CWR	HIRO	110117	
32	396	JK1DHX	KATSU	1337	
33	312	JK1EBA	HASE	1114	JA7JTQ
34	380	JK1MIG	SUZUKI	1022	
35	304	JM1HUX	TAKA	100123	
36	293	JN1WXW	TAKE	1421	
37	414	JO1EEQ	SHIN	1501	
38	342	JQ1NGT	KEN	1331	JJ7JYG
39	386	7K1DPE	IT	134404	
40	392	7M4XGY	TOSI	134402	
41	363	7N3SHX	MASA	1204	
42	354	JA2FEA	KIYO	2036	
43	314	JA2HWK	SAM	2013	
44	303	JA2MYA	HIRO	1901	
45	306	JA2NOQ	MICK	20001	
46	364	JA2OLJ	IWA	20005	
47	420	JA2PYD	ADO	180103	
48	358	JF2VUF	TADA	200101	
49	389	JG2GSY	TOMMY	200102	JN7MQV, SM7XQZ
50	274	JH2URW	KOH	2014	
51	403	JN2XFK	HIRO	2025	
52	025	JR2DYD	MAKO	2004	
53	027	JR2GCS	KUNI	1913	
54	350	JS2KHM	CHIKA	200112	
55	371	JA3NZ	YAS	2601	exJA2BK, exJR3SIJ

KCJ Member List

as of Jul. 30, 2011

No.	M-No	Call sign	Handle	JCC/G	Other call sign
56	068	JA3ATJ	KIKU	2509	
57	361	JE3ECD	HIDE	2531	
58	169	JE3GDW	MASA	2504	
59	158	JE3NNJ	YOSI	27012	
60	206	JE3PED	SANO	2212	JP1AVW
61	134	JF3PMG	TAI	2306	
62	185	JG3LGD	ICHI	2730	
63	407	JG3MJS	TOSHI	2609	
64	256	JG3SVP	TAKA	2305	
65	284	JH3CNC	TOMI	2531	
66	031	JH3EZV	KEN	2601	exJQ2FND, exJE1SNY, exJJ7QOU
67	295	JH3HGI	SON	27001	
68	390	JI3DST	TAKE	250119	JS6RRR
69	372	JL3BDA	MASA	2710	
70	411	JO3DIN	MASA	250126	
71	412	JO3MQY	IWANA	2522	
72	415	JO3OMA	KOU	2718	
73	246	JR3KQJ	MASA	2710	JQ2WGY
74	118	JR3XEX	DATE	22014	JA9QOG
75	032	JA4TF	YOSHI	3502	
76	107	JA4TY	TAD	3308	
77	357	JA4AVO	TAKA	350106	
78	328	JA4BLO	DEWA	3102	
79	325	JE4GCO	TSURU	3102	
80	326	JE4OFK	YABU	1104	
81	219	JH4PCD	HAMA	3502	exJE3IHG
82	296	JH4RGH	HIDE	3302	
83	200	JH4XVN	MASA	2530	
84	401	JO4CAP	RIKO	100123	
85	208	JR4DYC	FUJI	2514	
86	162	JA5CUX	AKI	36004	
87	419	JA5NSR	SYO	3704	JA3NRP
88	381	JA5OSA	FUJI	3602	
89	145	JA5SZM	DAN	3602	JA4MTB, JE3CEN
90	261	JA5TRT	KAWA	37006	
91	044	JA6APR	TAKE	4301	
92	388	JA6GAO	MASA	402105	
93	297	JA6LVW	KEI	400101	
94	417	JA6WLG	YAS	4007	
95	418	JE6HCL	KEN	4308	JO3AYN, exJO2LSV
96	263	JE6JFR	SHUJI	40001	exJH8WEJ
97	330	JE6QFP	HIRO	40015	
98	285	JG6CDH	ZOH	4601	
99	334	JG6QFC	NISHIDA	4401	
100	422	JH6IEK	KOU	16007	
101	387	JI6TJL	TAKA	1106	JA1KWJ, JE2LAC
102	385	JQ6QUO	UME	4401	
103	272	JA7TJ	TAKY	0304	
104	409	JA7WT	HIRO	1002	JN1IXJ
105	146	JA7AEM	TOM	0602	
106	049	JA7CPW	SIGE	060101	
107	410	JA7DAY	ROCK	010102	JK8AKJ
108	186	JA7DCD	ISA	0701	
109	337	JA7KJR	AKI	0302	
110	051	JA7KXD	JUN	060101	

KCJ Member List

as of Jul. 30, 2011

No.	M-No	Callsign	Handle	JCC/G	Other callsign
111	351	JA7QLP	HIRO	100119	JM1PWW
112	283	JH7FQK	ONE	0714	
113	244	JH7VOT	GEN	0309	
114	394	JN7MLJ	HARU	06013	
115	367	JN7OJA	OSAMU	03004	
116	362	JO7EGJ	HIRO	1207	JA1BAS, JA8TVP
117	279	JA8LN	RYO	0107	
118	316	JA8AJE	MASA	010108	
119	344	JA8BOL	KAKU	0305	
120	319	JA8CFK	KYOH	1206	
121	217	JA8CVR	MAT	01042	
122	163	JA8NSR	SAKU	010107	
123	082	JA8OHG	KUN	0134	
124	307	JA8PMN	TOSHI	01031	
125	143	JA8PON	SEI	0112	
126	339	JA8XIC	KATO	010108	
127	313	JE8JYD	JUN	0136	
128	335	JE8RKV	FUJIKO	01021	
129	349	JH8CBH	AKI	01028	
130	378	JH8CHT	SATO	0104	
131	209	JH8HHF	KEN	010107	
132	223	JH8MPJ	JIN	01015	
133	254	JH8QXL	HONDA	0124	JA6HED
134	245	JA9CDR	AKI	2901	
135	309	JA9CZJ	HIRO	30004	
136	332	JA9NPS	SEIGO	3001	
137	233	JH9CAJ	YASU	13008	JA10JA, W5YN
138	053	JA0BJ	TAK	0901	
139	298	JA0GZ	TOSHI	0808	
140	356	JA0AAQ	TOSHI	080105	
141	366	JA0AFL	KITA	0909	
142	374	JA0EMS	NOB	080105	
143	294	JA0NCE	KEN	0808	
144	084	JA0SNS	KEI	0904	
145	369	JE0JAO	AKIRA	0813	
146	375	JH0PPS	TAK	0806	
147	191	JJ0ODQ	NIKI	0921	exJH8MTE
148	391	DL6QA	FRED		
149	406	F5NQL	MAURICE		
150	399	KH7C	MERV		exK9FD
151	398	N6TT	STEVE		
152	402	VR2ZQZ	IGOR		UA3QJC, KC5VfV
153	408	W4VIC	VIC		

The list of memorial members

JA1AYC, JA1BML, JA1KFN, JA1THL, JL1XWP, JQ1NTJ, JR1NPW, JA2TKI, JH2WSN
 JR2FKB, JR2MQH, JA3MKP, JF3FMR, JF3UVI, JG3EYX, JA4VJ, JE4ASR, JA5UI
 JA6FSC, JA6UKR, JA7ARH, JA7PCH, JF7BCD, JO7HMF, JA9FT, JFOPMU

【会員からの投稿記事】

【交信が成立したらQSLカードを交換しましょう】

JM1HUX 山後勝崇 (#304)

アマチュア無線はお天道さまのご機嫌で交信が可能になり、珍しい地域、新しいアマチュア局と会話出来ます。交信した相手とQSLカードの交換をしましょう。アマチュア無線が始まった100年近く前から世界中で続いている習わしです。いただいたQSLカードの数が増えるほど貴局の足跡が塗り替えられます。カードには、各国、各人の個性・特色がにじみ出て、受け取ったときの楽しみも格別です。また、アワードの申請にも欠かせません。

では、QSLカードに記載する必要な項目を挙げます。中学校の英語の授業で5W1Hを習いませんでしたか。すなわちWho、Where、When、What、Why、Howのことです。

- ① Who・・・文字の大きさは別として、自局と相手局のコールサイン。自分の氏名、自筆の署名。これは本人が発行したQSLカードで偽造品でないとの世界共通の証しです。
- ② Where・・・QSOが成立した場所。国、(州)、県、市、郡、町村名です。移動しているときは、自局、相手局ともコールサインの後に”/エリア” 船上なら”/MM” 上空なら”/AM” を追加です。その他に自局のCQ Zone番号、ITU Zone番号、Grid Locater、国内の市郡区番号を入れると親切ですね。最近では道の駅アワードがあり、Road Station番号も入れます。その他IOTA、峠などのアワード対策の加筆もあります。
- ③ When・・・交信した年、月、日、時間を書きます。年は西暦を、月は英語の略書きまたは数字を、時間は外国を相手なら世界標準時を、国内なら日本標準時を明記します。
- ④ What・・・周波数、出力、モードを。さらに、衛星通信の場合はアップリンク、ダウンリンクの周波数を追加します。
- ⑤ Why・・・Confirming Our QSO
- ⑥ How・・・レポート(RST) なおTはモードにより省略。その他にあるとよいものは、自局の設備の紹介(Rig、Antennaなど)既製品か、自作品か。最後に心温まる挨拶を一言加筆すると好いでしょう。

なお、QSLカードの交換は全世界が相手だから、どこの国の局長さんでも理解できる言葉、文字で書きましょう。また、相手国の公序良俗に違反しないよう心掛けましょう。受け取る局長さんにお子さんの場合があります。ヌードの写真はダメです。

詳しい書き方とカードの規格はJARL会員手帳にありますが、アマチュア無線の法律知識、アマチュア無線の運用ガイド等に多くの局長さんが書かれていますのでご覧下さい。

QSLカードの交換は日本アマチュア無線連盟のビューローを通して送りましょう。交換不能な国、JARL非加盟の局長さんには、SASEでお願いするのが良いでしょう。相手の住所を調べるのは一苦労ですね。

【衛星通信用移動設備の試作】

JA1COP/JA40EY 佐々木広武 (#288)

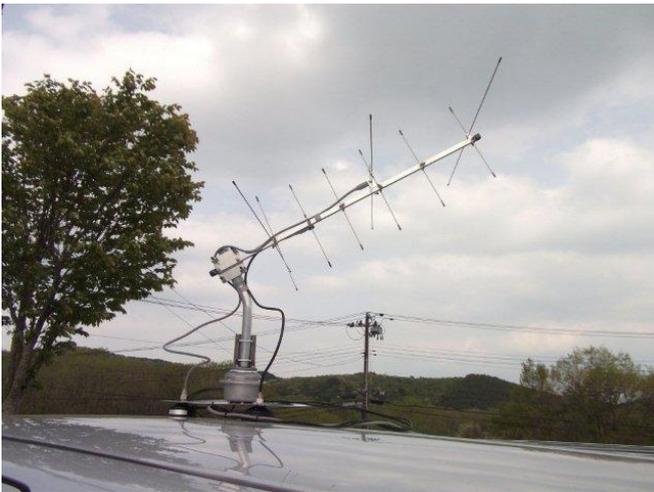
衛星通信での移動はモバイルホイップで手軽に移動する方法もありますが、都市部のノイズが多い地帯では、弱いダウンリンクを聞くのが不利で、せっかく珍しい場所からQRVされているのにQSOに至らないケースが多々あります。当局も移動による衛星の運用を時々行ないませんが、逆にホイップでは自分のダウンリンクが見つからない場合も良くあります。

そこで、やはり衛星でも八木アンテナなどのビームが威力を発揮します。衛星用の八木アンテナは過去にも軽量なものが多々販売されていますが、昨年のハムフェアでKCJブースの目の前にRADIX社が展示していて、そこに展示してあるAY-207SAT(144MHz3エレ、430MHz6エレのブーム共通・エレメントク

ロス式) が目に入り、さっそく入手しました。これは、衛星移動マンでは流行となっているカメラ用の三脚に取り付けて使用することも視野において設計された、まさに移動専用仕様の製品です。

このアンテナは給電線が個別になっています。筆者は2009年に四国移動した際、2周波八木アンテナの共用器を用いて使用しましたが、まさかの共用器故障で、衛星通信がさっぱりだった苦い経験を持っています。それ以来、この2周波数独立給電方式も理想でした。ただしこの製品、2011年7月現在のカタログからは消えています。ハムフェア限定販売だったのかもしれませんが。

さて、筆者は以前から移動時の三脚設置には見た目において抵抗があり、ふみたて君、小型のローテーター、塩ビマストの組み合わせで市中の移動も挙げていました。ところが2010年の冬に、某市7の11駐車場で運用していたところ、店の客に警察通報されてしまい、言い訳にいたく時間がかかって



しまいました。おりしも朝鮮半島問題さなかであったことから、この通報は一般市民として妥当です。これ以来、踏み立て君の市中使用が恐怖のトラウマとなってしまう、移動も田舎に限られてきました。

前置きが長くなりました。このような経緯で、このたび、三脚もふみたて君も使わなくて、簡単に八木アンテナをぶん回せる装置を開発し、実用に供しましたのでご紹介します。

現物は写真のとおりです。ローテーターはヤエスのG-250ですが、残念なことにこれは既に生産中止となり、国内の販売店ではもう在庫も無いようです。これよりひとランク大きいものは、エモテーターの103LBですが、たぶん同様に製作できると思います。コントローラは安いDC-ACコンバータを介して、車のバッテリーに接続します。



マグネット基台はすべて中古品を使用したもので、仕様と高さがバラバラです。このまま車両の天井に付けてしまうとかなり強力な力で、付け外しが大変です。最悪、天井が凹む可能性もあります。そこで、クッション材を必ず付けるようにします。アルミパネルはDIY店で入手し、角は危険なので丁寧にヤスリかけします。車内に引き込むケーブルは、筆者は、144MHzはマグネット基台のものをそのまま利用、430MHzは短くて太い中継ケーブルを別に使用しています。このあたりは好みで良いでしょう。ブームは32mmのアルミパイプを約30度曲げて使っていますが、さすがにこれは近所の鉄工所をお願いしました。

自作ならもう少し細いアルミ管で十分で、中に砂を入れて曲げると良いようです。高さは保てませんが、この基台で、50MHzの2エレくらいは回せます。1200MHzの9エレなら1mくらい突き上げて車両天井設置が可能です。ただし、筆者の車両は天井がやや高いので、ミニ脚立を新たに準備しました。

この記事が移動好きの皆さんの実験の参考になればと思います。

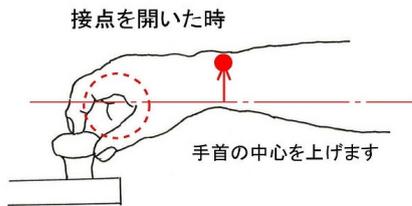
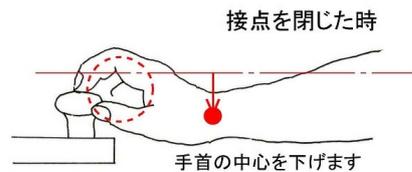
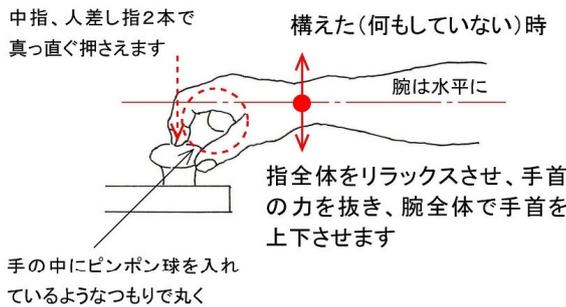
[縦振りキーの正しい打ち方]

企画：JM1HUX 山後勝崇 (#304)

イラスト・文責：JH1TFL 足立征一 (#258)

送信のワンポイントアドバイス

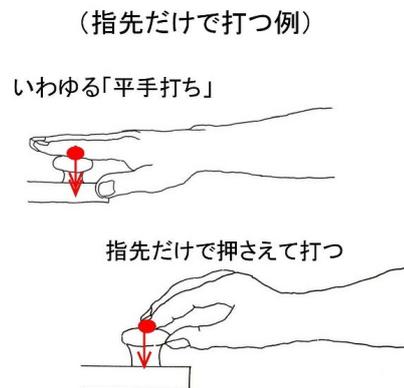
キーは腕全体で打つ！



正しい座り方



好ましくない打ち方！



送信術をマスターするまでは我流に陥らないようにくれぐれも注意しましょう。例えば上図のように、指先だけで電鍵を操作すると、指先だけに負担がかかり、疲労しスピードが上がらなくなります。無理してスピードを上げようとすると「手崩れ」という電信特有の病気のような現象が起き、正しい符号がまったく打てなくなります。「手崩れ」は精神的な要素も加わっていますので、治すのは大変むづかしいものです。正しい打ち方をしっかりマスターしましょう。正しい打ち方で自分の符号を耳から記憶すると、上級者になってエレキーなどを使うようになっても、きれいなタイミングで操作出来るようになります。

ゆったりした気分で座ろう！

椅子に深くかけ、背筋を真っ直ぐ伸ばす。上腕と前腕を直角に曲げ、肘から手首までを水平にする。肩の力を抜き、手首は緊張させない。電鍵のつまみは人差し指と中指で上から真っ直ぐに軽く押さえる。親指をつまみの下に軽く当てる。手の中にピンポン球を入れているようなイメージで3本の指で丸い輪を作る。薬指、小指は軽く曲げて添える。手首を上下させて電鍵を操作している時も指全体の形はくずさない。

[私のデータ・バックアップ方法]

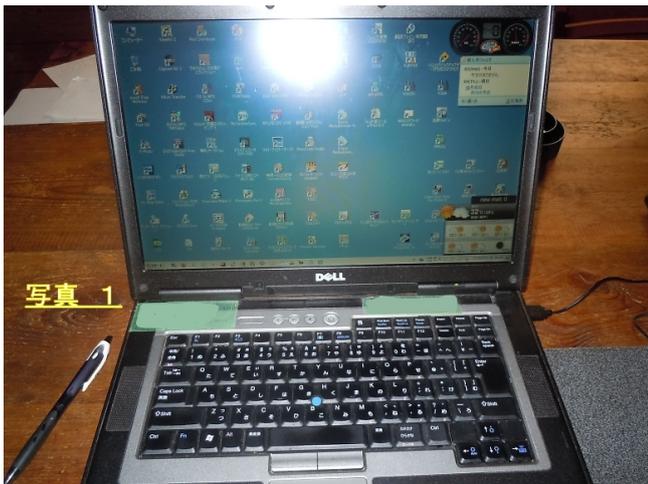
JH3HGI 吉村豊樹 (#295)

時々『パソコンのハードディスクが壊れてハムログのデータが消えてしまった』といったことを聞きます。

アプリケーションソフトはお金を出せば買うことが出来ますが、ハムログに限らずデータはかけがえのないもので、お金では買うことは出来ません。

私は4台のパソコン（ノートPC 2台、自作デスクトップ機 2台）を使っていますが、もしもの時に備えて普段からデータはこまめにバックアップしています。その方法をご紹介します。

なお、4台のパソコンは全て無線・有線で家庭内LANに繋がっており、これ以外にXYLのPCと2nd(長男)のPCもLANに繋がっています。



私が普段、メインで（仕事でもプライベートでも）使っているのは写真1の DELL LATITUDE D820 (PC1 とします) です。このPC1に公私にわたる様々なデータを保存しています。写真2のノートPC (ASUS EeePC-1000H、PC2 とします) を移動運用時、ハムログへのデータ入力に使い、帰宅したらそのデータを『Pyxis』 (<http://homepage3.nifty.com/pyxis/>) というファイル管理ツールを使ってPC1に転送します。Pyxisには『ディレクトリの同期』という機能があるので、これを利用します。



PC1のデータは毎晩自宅サーバー（365日24時間稼働、写真3の左側、PC3とします）にPyxisを使って転送します。

この時点で2ヶ所にデータが保存されていることとなりますが、このままではまだ不安ですので、PC3から写真3の右側のPC (PC4とします) および、ネットワーク・ハードディスク (NAS) にデータをバックアップします。

ここでのバックアップは自動で行っていますが、その方法は以下のとおりです。

PC4は普段は電源を切っています (PC3のサブ機です) ので、毎朝4時に自動で電源をONします。自動電源ONに使うソフトは『BootTimer』というソフトです。

BootTimerは以下からダウンロードできます。

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA022629/>

このソフトを使えば希望の時刻にPCを起動 & シャットダウン することができます。

PC4が自動起動したら、PC3から『BunBackup』というバックアップ専用ソフトでデータをバックアップします。BunBackupは以下からダウンロードできます。

<http://homepage3.nifty.com/nagatsuki/bunbackup/bunbackup.htm>

これと同時にNASへもBunBackupを使ってバックアップしますが、NASには自動で希望の時刻に起

動 & シャットダウン する機能があります。

もちろん PC4 と NAS へのバックアップ作業は就寝中に自動で全て完了します。

これで大切なデータが PC1、PC3、PC4、NAS の 4ヶ所に保存されていますので、ここまでしておけばまず大丈夫だろうと思っています。

この記事が皆さんの参考になれば幸いです。

[ガレキとともに去った懐かしのリグ]

JA7AEM 樋口知雄 (#146)

このたびの東日本大震災による地震・津波では、皆様に大変ご心配をおかけしました。

おかげ様で、少しずつですが、以前の生活に戻りつつありますので、どうぞご安心ください。

津波による水没の直接的な被害は、1Fの全ての家具、家電等がNGになったことが主なものですが、応急的な修理は一応終わっています。

しかし、時間の経過とともに、新たな不具合も出てきました。壁のクロスがはがれてきたので、全面張り替えることにしました。また、キッチンの表面の塗装がはがれたり、板の部分が反り返ってきたため、これも取り換えることにしたのですが、それらが完成するのは、しばらく後のことになりそうです。

ハム関係の被害は、物置に積んであった昔のリグ（ほとんどが自作）が完全に水没したため、家財、家電等のガレキとともにすべて処分しました。

その中で、ダンプに積み込む時にちょっと手が止まったものが二つありました。

一つ目は、1.9Mc(MHzではなくHi)用の送信機でした。6CL6-2B33 の構成で、X-tal 1個だけで使いましたが、40年前は結構実用になった記憶があります。

このリグは、ケースの上蓋が簡単に開いたので、ドロの中から2本の真空管を記念に抜き取りました。

もう一つは、タクシー機改造の 2メータFM機です。

当時の富士通テン製で、もちろんオール真空管、14球くらい？、重さは10kg以上もあり、150メガ帯で終段は 6360、出力は 1Wでした。

本体組み込みの DC-DCコンバータ部分をとりはずし、AC電源とスピーカを別ケースに組み、タクシーで使用していたカーボンマイクをそのまま使い、独特の音質の電波を出していました。

ロータリーSWで、144.48を含む12ch切り替え方式としましたが、水晶は6ch分しかつめていませんでした。

出力は 2Wくらいは出しましたが、実際の運用では、2B94 のアンプをつけて50Wで使いました。

このタクシー機は、当然ですが、車載用ですから造りがとても堅牢で、球やコイル等の部品配置が合理的で、私には、C や R のハンダづけまでが芸術品のようには思えました。

現役引退後もしくは、装飾品としてシャーシむき出しでシャックに飾っておいたものでした。

これは、簡単にケースが開けられない状態だったので、一旦手が止まりかけましたが、そのままダンプに投げ入れました。

さいわい、2Fのシャックのリグは、耐震対策を施していたため、ほとんどが無事でした。

商用電源の復旧後は、いつでも電波を出せる状態だったのですが、時間と心のゆとりが全くなく、お空には4月末の ALL JA TESTから復帰しました。

今後もコンテスト等を中心に楽しみたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

P.S.

今回の震災にあたり、多くの皆様から、お見舞いや励ましのメール等をいただきました。本当にありがとうございました。

とくに、1エリアのOMからは、交通が麻痺状態となり、東北地域の書店に対する書籍の配送が止まっているなか、ローカルの数局に対し、CQ誌 4月号と5月号を二度にわたり直接届けていただきました。重ねてお礼申し上げます。

[雑感 2011]

JA8AJE 笠原 勝 (#316)

●アクティビティ

ここ十年ぐらひは、リグはもちろん周辺機器も作らず、無線のアクティビティはもっぱら QSO です。モードはCW、いろんなバンドでのQSOが有効ですのでAJAをメインとしています。そのAJAも1.9~50MHzを使い10000点ほどになるとなかなか増えませんので、だんだんQRVも遠のいてきます。ここでの問題はQRVしない状態になれてしまい、2~3週間空に出なくても何とも感じなくなることです。これではいかん、どうにかしてアクティビティを維持しようと思い、新しい目標を設定してみました。

移動運用のみを追いかけてAJAをどこまで延ばせるか、というものです。今は移動運用が盛んになっていますので、相手が不足することはないだろうという予想です。

この目標を設定したのが2月末頃でした。その後あの大災害により4月はQRTしましたので、5~7月のデータしかありませんが、QSO数が月平均2割ほど増えました。1年ほど経過しないとわかりませんが、このように新たな目標設定がアクティビティ上昇にある程度の効果があるようです。勿論、実際には移動運用のみを追いかけているわけではなく、従来のAJAのスコア上昇にも寄与しています。諸OMが無線を続けるには何か目標を持ちなさい、と言っておられる意味が分かりました。

●あなたのコールサインは？

上に書いたように、今は移動局を聞けば「だぼはぜ」のごとく食いついて呼びます。相手は移動局ですからできるだけ多くの局とQSOするため、599BKのたぐいのQSOです。困ったことに一つのQSOが終わっても自分のコールを送らない移動局が結構多いのです。通常のQSOであれば、一回のQSO中何度か相手のコール、自分のコールを送出しますので、途中から聞いてもそのQSOが終わった後それらの局のコールは判り呼ぶことができます。599BKではそれができません、呼べません。

国内コンテストでも、最近は改善されてきていますが、同様のことが起こります。数回のQSO後自局のコールを送らないことについて、QRPerのためという確固たる理由を持つ局もいます。それに対しては他人がとやかく言えませんのでお願いするしかありません。ぜひQSOごとに自局コールを送出してくださいようお願いします。パイルがひどいとできるだけ早く治めるため自局コールを省略しがちですが、ひどければひどいほど、自局コール送出手を確実にお願いします。

ある著名なDXerが言っていました。DxPeditionは皆で楽しむのだ、と。そのためにはパイルがひどくても自局コールの送出手は確実に、と。そうなんです。コールが判らず呼べない時は途中から聞いている局は楽しめません。ぜひ楽しませてください。呼んで取ってもらえないときは自分の非力と諦めますが、コールが判らず呼べないのは・・・

●キーおよびパドル

私自身あまり先が長くないと思いますので、身辺整理を行いつつあります。その手始めはキー・パドルです。これまで買ったはずのキー・パドルをチェックしてみました。ところがない！どこを探してもない！あの大理石台の縦ぶれが。諦めて他のキーをチェックしますと、がっかりしたことにこれも大理石台に乗った横ぶれキーのレバーが折れていました。その他残っていたパドルはVIBROPLEX CODE WARRIOR JUNIOR, HI-MOUND BK-100, スペインのLTA ("Telegraph Key Craftsmen") dual lever paddle, MFJ 564, HI-MOUNDのダブルレバー(レバーの間隔が狭い)、KATSUMIのダブルレバー(丸い台座)でした。GHDのGN-507が行方不明でした。

25年前再開局したときはジャンクの縦ぶれ、その後エレキーに移りバイプロの磁石を使ったパドル、ちょっと柔らかめでしたので固めのJA-2に移り約20年後の現在に至っています。では上記のいろんなパドルは何のため？私はコレクターではありません。

私はパドルの右手用結線そのまま左打ちです。短点は人差し指です。英文を打つとEがIに成ることが多く、特にTHEがTHIになるのがいやでした。当時はパドルのせいにして、パドルを入れ替えれば上手くなるのではといろいろ買って試しましたが、相変わらずのミス連発です。多分パドルのせいではなく打ち方に問題ありなのでしょう。人差し指がちょっと長めにパドルを押しているのではと。プロだった方の打ち方を見るとエレキー・ダブルレバーでも大げさと思えるほど手首を振っています。私は誰にも習わなかったもので、普通に指先だけで打ちます。注意すれば単語中のEはIに化けることは少なくなります。単語最後のEは結構間違えます。それで、最後のEの時は、人差し指をややレバーから離れた位置から打ち付けるようにレバーを打ちます。これでIに成る確率は減りますが、常に注意をしなければならぬのんびりできません。いずれは平文もコンピュータでやらざるを得ないかなと思うとちょっと寂しいです。

[東日本大震災に思ったこと]

JH3EZV (exJJ7QOU) 勝本 健 (#031)

今春発生した東日本大震災は、日本人の誰もが深く心に残る出来事でした。

とりわけ、東北地方の皆様方や、東北地方でなくても被災された方々に対して、改めて心からお見舞い申し上げます。

その後は如何に月・日が経過しても、テレビや新聞・雑誌などで報じられる画面を見る度に、そのエネルギーの凄まじかったことに驚くばかりです。

私も子供の頃に戦災で焼き尽くされた経験があり、復興には長い年月を要すると思いますが、被災された方々には頑張って一日も早い復興をお祈りします。

さて、この地震発生で私の最も気掛かりなことがありました。

それは20数年前に、今回の震源地に近い太平洋上の磐城沖プラットフォームで勤務していたことがあり、若しも勤務していたらどのような状況だったのだろうと頭を過りました。

このプラットフォームは波高・風速・潮流などに対しては等級100（100年に1度の発生可能事態に耐えるもの）、地震に対しては等級200で設計しているという謳い文句でした。



しかし、勤務中に発生した地震の経験からでも、プラットフォームの構造上かなり大きく揺れて、その周期も相当に長かったことを記憶していましたので、あそこは『大丈夫かナア〜?』と思い巡らしてネット検索すると、既に数年前に生産を中止し、プラットフォーム自体も昨年撤去完了し

たことを知り、他人事ながら安心した次第です。Hi!

今回は当時のプラットフォームの雄姿を載せた私のQSLカードをこの紙上に再現して偲びたいと思い、ここに投稿させて頂きました。

[DXCC CW-300 達成はいつの日か?]

JA1PHE 大屋宣昭

ハムフェアの会場にカードを持参してのDXCCの申請が今年で3回目になる。

一度に120 QSOのチェックが可能なので、昨年までで240 エンティティ分を申請しCWとMIXのアワードを取得した。手持ちの未申請のカードが60 数枚あるので、今年でめでたく300の大台に届くが、残念なことにCWは280である。本当はあと10枚ほどCWの交信実績があるのだがQSLカードに2×、2WAY等の記述がなく、これらはCWの交信と認められず、MIXの申請に使用することになる。よって、CW275、MIX300のステッカーをゲットできる予定である。

2年ほど前にMIXで300になったし、CONDXも悪いのでDXは上がりにした。それ以来平穏な毎日を過ごしている。しかし、CWもなんとか300までやりたいなと思い返しているところである。サイクル24

の CONDX は低調と予想されているが、太陽黒点数は 60 位まで上がって来たのでピークの 13 年には 100 ぐらいまで行きそうな感じだ。

タワーから下ろしてしまった ANT を涼しくなったら上げなおそう。と言っても 3 エレトライバンダーです、ささやかなものです。



ところで、申請用のカードを探していたら、懐かしいカードがでて来たので、数枚を紹介させていただこうと思います。

① DU1GF 88 年 10 月交信 50SSB George さん (石橋さん) です。VHF 界では有名人でした。10 年ほど前に Silent key です。先方は IC-502A 1W に 4 エレ、こちらは 10W に 6 エレでした。国内 E スポ並に強力でした。この頃は 10W で W、VE、KL7 等とも交信出来ました。CONDX が良かったんですね。

② HS1ABD 79 年 5 月交信 28CW 多分コンテストの交信 コンテスト時に毎回強力に入感し

ていました。BURO でカードをいただきました。

母国からも K3ZO でコンテストにでていました。こちらも 21CW、28CW のカードを BURO でいただきました。

③ BV2A 79 年 1 月交信 14CW

いまでは BV 局は多数でていますが、当時は一般にはアマチュア無線は許可されず、台湾の ONLY 局でした。Tim さん本人のサインのあるカードを SASE でいただきました。その後、JA の QSL MANAGER が付いて国内 SASE でカードがもらえるようになりました。

④ XYORR 91 年 9 月交信 14CW

Myanmar DX-Pediton ですが、Romeo 氏がでたところは国境地帯のミャンマーではないところでした。もう 1 件、92 年 12 月に P5RS7 (北朝鮮) という Callsign でロシアから盛大に QRV しました。これらがバレて Romeo 氏は無線界を追放になりました。これらのカードは不正カードですが、XYORR は DXCC には有効だそうです。ARRL が 1 度認めてしまったので OK なんだそうです。小生は DXCC には使いませんでした。P5RS7 は NG で、皆さんぬか喜びでした。

以上 4 枚です。

DX のカードを集めるのは気の長い話です、BURO では PSE で来ると 1 年も待てば届きますが、TNX で帰って来るのには 2 年くらいかかります。BURO ではカードを発行しない局もあります。そこで SASE を出すこととなります。MANAGER がついていると返信も確実ですが、本人の場合はいろいろです。小生は 30 年間で 834 通の SASE を出して、回収率は 93% でした。要した費用は 1 通平均 400 円として約 33 万円、結構な金額ですが、1k 円弱/月ですから、たいした出費ではありませんね。

今年も IRC の使用はゼロ枚で、期限切れ前に郵便局で切手と交換することになりそうです。

[マイクロ波の面白さ]

JR3KQJ 中島昌己

・なぜマイクロ波か

マイクロ波とは一般に 300MHz 以上を指しますが、ここでは 1.2~5.6GHz で関西からの運用をイメージして綴ります。

私の場合はマイクロ波進出の動機は単純です。

AJA や KCJA (CW マルチバンド WAJA) のために、HF は先が見えてきましたので、これ以上ポイントアップを狙うとしたらマイクロ波しか無いからです。



一のワンクリックで了解度が変化します。

そして周波数とビームがピッタリ合った時に、砂嵐が突然止んでオアシスが出現したようにSメーターが踊り出しますが、この感触が堪りません。

・そしてCWリクエスト

QSO成立後にCWをリクエストしますがペーパーライセンスの方が多く、またベテランでも山にキーを持参する方は少ないです。

グループ移動やコントロール局が居るような場合は、CWリクエストを言い出すのがはばかられます。ですからML等で移動情報を入手して事前にスケジュールを組むのが効果的です。

・コンテストでのCW QSO

通常はいきなりCWでCQを出しても応答の可能性は極めて低いですがコンテストだけは別です。

6m & DownやF Dayではスタート直後の30分が勝負で、1.2~5.6GのCWを駆け巡ります。

過去ログを検索したらこの局は2.4GにQRV可能というのがわかりますのでQSYをリクエストしますが、運用を止めた局も多く成功率は1/4くらいでしょうか。

・5.6GHzのDX記録

昨年のFD開始前に下伊那郡移動のJHOMUC局との約300kmが私の記録です。

アンテナは粗大ゴミで見つけたCSパラボラにマキの通称オチョコ給電部を取り付けましたが、シャープな指向性が得られました。

見通し外でしたが、50Mで連絡を取りながらCWで送受信を根気よく繰り返して、かすかな信号の断続が見つかりました。

・マイクロ波の相手は居るの?

私の自宅は北兵庫の山中で、コンテストの50Mでも20 QSOほどが限界ですから、山岳移動のみでQRVしています。

2.4G/5.6GのFMメインで六甲山からCQを出したら数局のお馴染みさんからコールが期待できますが、コンテストでも合計5~10局まででしょうか。

(左の写真は「豊岡市移動」で福島県と1200MでQSOしたときのもの、900m地点・51エレスタック)

・遠距離QSOの方法

親機はTS790でそれにマキのトランスバーターを接続しています。

不安定な発振周波数の通倍を重ね、ピーコンを受信可能な場所は限られており、VX0での補正も限界があって正確な周波数の把握が困難です。

お互いがこの状態ですから2.4G以上ではスケジュールを組んでもまずゼロインが最初の課題です。

確実にQSOできるVHFで連絡を取りながら交互に送受信を繰り返して上下10kHzくらいをワッチし、時にはFM送信してビートを探しシャープなビームを探り合ってピンポイントを見つけます。

ローターターと二段ポールの接続部のバックラッシュが重なってコントローラ



(上左はCSパラボラ改造5.6Gアンテナ、右は5.6Gの通称オチョコ給電部)

・アワードに挑戦

下記は現在のポイントで全て兵庫県内QS0ですが、スケジュールを組んで頂ける方があれば jarl.comへメール願います。

周波数	MixAJA	CW AJA	CW WAJA
1200M	343	125	27
2400M	89	32	11
5600M	15	8	3

皆さんもマイクロ波の世界へいかがでしょうか。

[KCJ 会員短信]

ハムフェアおよび総会に向けて、KCJ 会員から寄せられたメッセージ・レポートをお届けします。

(投稿は一部編集させていただきました)

◆ JA10YB: 和文が少しでも上手になりたい一心から7025付近で実戦練習中。使用電鍵はもちろん縦振りのみ。

◆ JA1PHE: SATELLITE WACA残り 32、WAGA残り 13、最近やや下火なので、そろそろお助けマンにお願いしないと達成は難しそうです。

◆ JA1TCF: CONDXには勝てず、AJAも頭打ち。サテライトもほぼ完了。VUのUPには移動にかけるのみか・・・

◆ JE1KNT: 毎年の夏は英国に来ており、8月のKCJ

コンテスト、ハムフェアに参加出来ず、残念です。今年はTECSUN PL-660を持参してハムバンドをSWLしています。

◆ JE1TRV: 6月に入会させていただいたばかりで、まだクラブの様子がわからずMLなどはROMさせていただいています。

私のCW運用スタイルですが、もっぱら欧文ラグチューに興味の中心があり、平日は寝る前に7メガで北米西海岸の早起きオジサンたちと短い会話をしたりしております。

ハイバンドのCONDXが上昇してきた昨今はDXとのショートQS0も時々楽しんでます。和文も忘れない程度にやっております。コンテストはイワユル「コン捨てたー」の部類なのでメジャーコンテストにはほとんど出ていませんが、短時間のスプリントなどには時々顔を出しております。

7026付近でよくロンリーCQを出しております。聞こえておりましたら是非お声掛けください。

73+88!

◆ **JH1BAM**:DXCCオナーロール陥落をおそれて、相変わらずニューを追いかけています。勿論CW部門は落とせません！

111,027 QSO in STOR Database.										
26,242 Unique Callsigns, 170 DXCC, 39 CQ Zones.										
First QSO at 22/07/2011 @ 15:36 Last QSO at 08/08/2011 @ 07:50										
Call sign:	<input type="text" value="Send"/>									
QSO of JH1BAM:										
	6	10	12	15	17	20	30	40	80	160
CW	×	×	✓	✓	✓	✓	✓	✓	×	×
SSB	×	×	✓	✓	✓	✓			×	×
RTTY	×	✓	×	✓	✓	✓	✓		×	×
CW: 6 SSB: 4 RTTY: 5 TOTAL: 15										
815818 searches.										
Search applet by EA2RY (c) 2011. Created for the DXfriends.com Expeditions										

◆ **JN1WXW**: 昨年のハムフェアでTS-590のデモを見て、予約して購入しましたが、まだ一回もQSOしていません。近いうちに何とかしたいと思います。

◆ **JA20LJ**: ハム歴 43年 いろいろ無線を楽しんでいます。

WACA WAGA よみうり1万局賞 (国内&世界) 他 獲得DXCC は345/345

現在は固定からQRPp 500mW (FT-817)、移動局は 東海4県の道の駅巡礼中 (ただ今2順目)

最近は 土曜日 仕事を終えてから出発 出先で無線 車中泊、色々な出会いがあり 新しい感動があり、これから少なくとも20年 CWを楽しんでいきたい。

◆ **JA2PYD**: 私の初交信の思い出です。

1993年に初めてCWの交信をしました。相手は7K2MPEでした。その頃まだ「7・・・」局は知りませんでした。周りに私は外国の局と交信したと自慢しました。首を長くしてカードを待ちました。そしたら、なんと山梨県の局長さんでした。思わず、長い首がひっこんだ事を思い出しました。良い思い出です。19年前の事です。

◆ **JA3ATJ**: JA3ATJ 坂井も ハムフェア会場内にはありますが、あちこちのブースを掛けもっていますので、お目にかかれたら BK ください。実にほそぼそと CWを楽しんでいます。

◆ **JH3HGI**: 7月下旬から8月中旬にかけて「STOR」のペディションで盛り上がりましたね。私はタイミングが悪いのか、耳 (アンテナ) が悪いのか、信号が聞こえず ゼロQSOでした (涙)

◆ **J13DST**: J13DST 舟木です。ハムフェアに参加します。IOTA CPブースにいますので、よろしくお願ひします。さて、3月に右足を骨折して、5ヶ月の

入院生活でしたので、すぐに移動運用ができませんが...、自宅 (大阪市阿倍野区) からQRVできるようになりましたので、QSOよろしくお願ひします。

◆ **JO3MQY**: 先日、クラブ局 (JR8YLY/3) を運用させて頂きました。自局のコールサインをかなりの頻度で打ち間違えてしまい世間に恥をさらしてしまいました。次の機会までに練習しておきますのでご容赦下さい。

◆ **JO3OMA**: 移動運用専門となりましたが、2アマも取得したのでなるべく各バンドにQRVするよう頑張っています。

それでもやっぱり6mが大好きですが (^_^);

◆ **JR3XEX**: CQ誌の2011年9月号 (8月19日発売) に「はじめようモールス通信」が特集されます。

恥ずかしながら、当局に寄稿の依頼が来ました。KCJメンバーとしてお断りも出来ず「わたしのモールス通信」というテーマで、魅力、楽しみ方、これから始めようとしている方へのアドバイスなどを、短文ですが投稿いたしました。みなさんのご感想をお待ちしています。

◆ **JA4AVO**: 先月末、下関市ラーメン店「太平楽」で味噌ラーメンを食べました。

店主の松田さん (JH4RGH) にやっとお会いすることができました。ちょうどお昼時の、お忙しい時間になってしまって、写真も撮れませんでした。次回は、少し時間をずらせてゆっくりお話をしたく思います。「太平楽」のホームページはすばらしいですね

◆ **JH4RGH**: ブログとHPの更新で、ほとんど無線に出る時間がなくなりました。でも毎月100局位、カードを発行してます！

◆ **JA5CUX**: 今シーズンはコンディションが良いのでDXにシフトしています。DXCCも少しだけ増加したのでそろそろ申請しようかと考え中です。LoTWはすごく便利です。積極的に利用しています。Hi 国内はKCJAの早期完成を目指しています。1.9, 24, 28は残り1となりましたが50以上 (サテライト含む) は未QSO県が多数残っています。

135kHzもTX作製次第オンエアしたいものです。

◆ **JA5NSR**: サテライトを始めます。

145=4e1e/430=7e1eの移動ANTの完成も間近です。

◆ **JA7DCD**: 2.5 μ svに設定した放射線量計を手にゴルフをしました。ピーピー鳴りっぱなし。自然の中で放射線治療を受けています。ガン予防だと思ひ

込むようにしています。さすがにプレーヤーは少ないです。

友人の携帯メール着信音はCWで知らせるのでビックリ。無線とは縁のない友人です。不思議な気分でした。

◆ JE8RKY: 無線を長いことQRT状態の私ですが、それでも席を置いている訳は・・・。
無線を楽しんでいる人が好きだからそばにいたい。

◆ JH8CBH: 最近、もっぱら、会報の印刷作業だけとなってしまいました。何日かある夏季休暇を利用して、一日は無線三昧で過ごしたいと思っています。

全国CW同好会 (KCJ) のしおり

入会を希望される方へ

全国CW同好会は、CW QSOを通じてお互いの友情を温めあい、同時に CW 通信技術を高めるために努力しています。ハムの中で、もっともハムらしいハムと自負している人たちの集まりで、全国におよそ160人の会員がいます。

会の略称 [KCJ] のフルネームは [Keymen's Club of Japan] と称します。Key とは、私たちとは切っても切れない縁の深い電鍵であり、また“重要人物”という意味が含まれています。メンバーの一人ひとりが、良きCWマンであり、同時にアマチュア無線界の Keystone を守る人物でありたいと願いをこめて命名されました。

メンバーは、それぞれの地域でアマチュア無線活性化のために活動するとともに、自分でCWの面白さを見つけ、長くCWを楽しみたいと考えた人たちが集まった会です。

CWは通信の原点であり、電波が存在すれば、それを断続するだけで通信ができ、もっとも単純でありながら、もっとも確実な通信方法です。電波が飛んで行く、通信ができるというアマチュア無線の根底にある素朴な興味を満足させてくれます。

ご承知のとおり、CWは電話にくらべると通信の能率は悪く、意思の伝達に苦労することがあることも事実です。その欠点をカバーするために、簡潔な通信文を工夫してつづります。その通信文を解読し、相手が伝えようとしている内容を読みとり、符号に乗って伝わってくる相手の気持ちに触れることができます。これは推理や想像を楽しむ、ひとつの知的なゲームとしての面白さがあり、これこそ他の通信方法とは異なったCW通信の醍醐味だと言われています。

アマチュア無線に興味をもつ人は、いつの時

代にも少なくありません。日本では周知のように、世界に先駆けてノーコードライセンスを導入したことにより、アマチュア無線への入門の道が広がった反面、CWを知らないハムも多くなっています。いつときの興味でアマチュア無線を始めたり、その中でCWも一つのモードとして関心を持ったりというだけでなく、通信の原点でもあるこのCWをいつまでも大好きで、生涯、腕を磨くテーマのひとつにしようという考えの方々を本会は歓迎しています。

このように本会は、CWが好きな人の集まりですが、アマチュア無線のさまざまな楽しみ方を否定するものではありません。いまや多くの電波型式が許可されているアマチュア無線界ですから、いろいろな分野にパイオニア精神を発揮するのも結構です。しかし、結局はCWの面白さを認識された人たちが、いつかはここに集まってくるのではないかと考えています。

全国CW同好会の活動について

CWをより身近に、そしてエキサイティングなものとするために、ハムライフの中でCW QSOのいろいろな楽しみかたについて、多少のヒントを提供しています。また、本会が広くCW通信の発展にどのように貢献しているかを、具体的な事業を通して理解を深めていただきたいと考えています。

そのいくつかの事業を紹介します。

(1) アワード [KCJA] の発行

本会はユニークなアワード [KCJA] を発行しています。ネーミングは”Keymen's Century of Japan”で、また、KCJ Awardとも読めます。アワードルールは、単純明快で、マルチバンドで、のべ100都道府県とCWでQSOするというものです。

また、KCJ発足25周年を契機にKCJAルールを一部改定しました。KCJA申請にあたって、QSL

カードを提出していただくことを原則にしてみました。これまでの実績からQSLカードの正確な表記について、認識が十分に浸透したと考えますので、QSLカードの提出義務を原則的に廃止し自己宣誓方式に改めました。また、上位への挑戦意欲を持続していただくため、400点以上の申請は25点刻み、600点以上の申請は10点刻みに変更し、併せてステッカー制度を採用しました。

(2) CWコンテストの主催

毎年8月に、本会主催で[KCJコンテスト]を行っています。このコンテストの目的は、互いに確実なCW通信を通してCW送受信技術の向上を図り、かつCW愛好者の親睦を深め、併せてコンテストにおけるフェアプレー精神を高揚することにあります。

また、本会主催のコンテストの大きな特徴は、提出されたログを全数コンピュータで審査し、双方のログの記載内容が一致した場合に限って双方に得点を与えるという規則にあります。

ログを提出しない局とのQSOは得点になりません。ログを提出したからといっても、記載・転記ミスなどがあると、審査の段階で双方のログが一致せず、自分も得点できないし、相手にも得点が与えられないこととなります。得点を競う競技におけるフェアプレーとは、ルールにのっとって参加し自分も得点し、かつ相手にも迷惑をかけないことです。

ログ審査プログラムは、会員の間で議論を重ね、改善が行われた結晶です。また、近年はE-mailやFDでのログ提出を推進するなど、参加する人が自分のログをきちんとチェックして整理してあれば、合理的で公平な審査ができるようになっていきます。

毎年2月に、本会主催で[KCJトップバンドコンテスト]を行っています。1.9MHz帯の狭いバンド幅でもコンテスト実施が可能な独特のルールで、KCJトップバンドコンテストを行ってきましたが、2000年に1.8MHz帯の開放があり、バンド幅は一挙に倍増しました。このため、KCJトップバンドコンテストルールを大幅に見直し、1.8と1.9MHzの両周波数帯を使用できることとし、この機会にDX局の参加を可能にしました。

アワードもコンテストも、一種のスポーツであり遊びにすぎないことですが、そこにも守るべきルールがあります。誰もが容易に電波を出せる時代になっても、アマチュア無線の楽しさとは、規律とけじめを前提にしてこそ意味があ

る、と本会は考えています。

(3) 都道府県・北海道支庁の略称の制定

私たちは、CW通信で省略されたつづり文字から、もとの語が何であったかを推察し、その意味を理解するというのを、日常よく行っています。短い略称から、都道府県名などが容易に推察できるように、既成のコードとしてあった漁船の船籍都道府県名を示す符号をもとに、多少手を加えてKCJ独自のものを制定しました。このコードは、KCJが主催するコンテストで交換するナンバーに使っています。CW通信にセンスあふれる略語として、日常のQSOでQTHの表示にどんどん使って欲しいと思っています。また、他のコンテストのナンバーなどにも利用していただけることを願っています。

(4) KCJホームページの公開

会員向けの会報[ザ・キー]の発行以外に、KCJ活動内容を内外に知らせるため、KCJホームページ(<http://www.kcj-cw.com>)を作成しています。

会の活動に興味と関心をお持ちの方は、一度アクセスされますようお願いいたします。

(5) その他の活動

通信の原点ということは、アマチュア無線発祥のころの手づくりの通信という意味があって、今日でもCWは自作の余りある分野です。本会会員の多くは、自分の無線機を何か自作した経験があり、自作するアマチュア精神は、QRP機に凝縮されています。その記録にいとむ人もあれば、コンテストやアワードハントに巧みな人もいます。また、各バンドでヌシのように活躍している人、移動運用に熱心な人、DXをバリバリ稼いでいる人もいれば、もっぱら外国の電波の旅情を楽しんでいる人もいます。コンピュータとCWの接点を求めて、独自の活動をしている人もいます。地域でCW通信の指導に熱心な人もいます。

そんなエキスパートたちを、根底で結んでいるのがCWです。物質文明全盛の時代は、アマチュア無線もその例外ではなく、画像通信、衛星通信さえも手軽にメーカー製の機械を使って行われるようになりました。電波は飛んであたりまえ、聞こえて当然という風潮が生まれ、この趣味の存在する根底がゆらぎ始めたのではないかとさえ思われます。しかし、自分で努力して符号を覚え、自分でキーを操作してはじめて可能になるCW通信には、何か自分でやらなけ

ればならないという、古き良き時代のアマチュア精神が温存されているように思います。

CWはこの先、アマチュア無線の世界にしか残らないことになりましたが、自分の出した電波がはるばる飛んで行くことに対する素朴な興味と驚きを感じる感性豊かな人が絶えない限り、アマチュア無線のCWは存在し続けることでしょう。

CW同好会が、将来ただの[CW保存会]になってしまうことを嘆く声も聞かれます。しかし、それが死んで博物館に置かれるような保存ではなく、その電波が原始的ではあるが、確実な通信の手段として世界を飛びまわっている[動態保存]であれば、これは愉快なことではないでしょうか。そのためにも、本会は、“下手の横好き”の会ではなく、“好きこそもの上手”の会でなくてはならないと思っています。

全国CW同好会への入会について

入会資格は、**個人局で、CW免許を保有していることが必要条件**です。

「KCJ入会申込書」に、ご自身のアマチュア無線活動歴や、アマチュア無線やCWについてのお考えと自己紹介をお書きください。入会申込書が届いたとき、会から若干の質問をさせていただくかもしれませんがご理解ください。

会員はハムである以前に、よき社会人であることを強調しています。入会して、何か特別な利益があるという会ではありません。どの会員もボランティア精神を基に、会の運営に協力することが前提とされています。

本会会員は、電波法規の遵守はもちろん、アマチュア無線のよき習慣を不文律として守ることをモットーにしています。また、会員になられてからは、会の主催するコンテストに参加されたときは、主催者側の一員として必ずログを提出することを心がけていただきます。

長い生涯のうちには、いろいろな事情で好きなアマチュア無線から遠ざからなくてはならないこともあるでしょう。そのようにアクティビティの落ちた時期にあってもアマチュア無線とCWには関心をもち続け、本会会員であることに意義を感じ引き続き在籍していただきたいと思っています。

そうした事柄すべてを含めてライフホビーというものだと私たちは考えており、このような考えにご賛同いただける方に入会していただけることを心から望んでいます。

入会申込方法

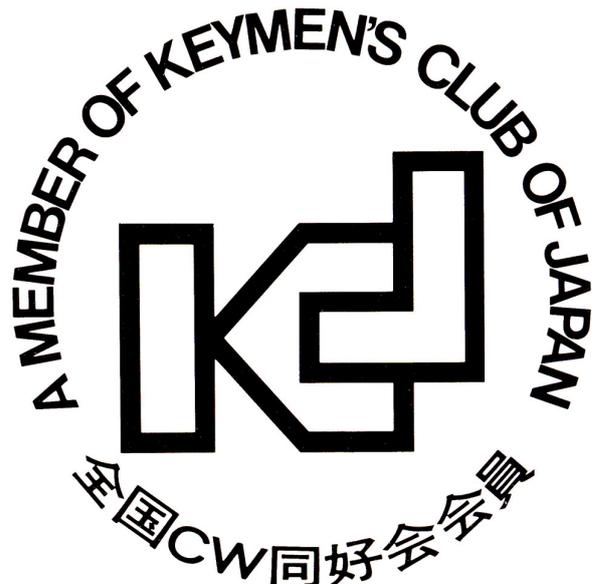
会員担当に、SASE(長型3号(A4三つ折り)の封筒に返信宛先を書いて90円切手を貼ったもの)を送って、入会申込書を取り寄せてください。入会申込書はE-mailでのご請求にも対応可能ですし、KCJ-Webからダウンロードすることも可能です。

送付先: 〒174-0046 東京都 板橋区
 蓮根 1-1-22-205
 JA7QLP/1 工藤 博昭
 (E-mail: kcj-mem2(a)kcj-cw.com)

次に、入会申込書に必要事項を記入してKCJ会長に提出してください。入会申請書への記入は自筆でお願いしますが、PDF やTIF の添付ファイルをメールで送付していただいても結構です。

送付先: 〒668-0821 兵庫県 豊岡市
 市場 602-1
 JR3KQJ 中島 昌己
 (E-mail: kcj-p(a)kcj-cw.com)

入会承認書が届いたら、所定の会費を納めて、貴局もKCJの一員となります。



(完)